

# Via Latina 22

## 総本部よりのお知らせ—マリア会



第223号  
2013年 6月

### 三大陸での誓願宣立!

**インド:** 2013年5月1日、インドはランチのマリアニスト修練院の Nirmal Deep 聖堂において、5名の兄弟が初誓願を宣立しました。5名とはFelix Raja, Jerin Pananthanam, Praveen Kumar, Pratap Beck, Telesphore Soreng の皆さんです。Bro. Augustus Surin 従属地区長が誓願を受理し、感謝のメッセージを述べました。修練院長である Fr. Ignase Arulappen が司式し、Fr. Joseph Barla が説教と式長を担当しました。250名を超えるマリアニスト家族のメンバーや招待者たちが式に列席しました。



At the May 1 first vow profession in Ranchi, India, Bro. Del Jorn, Fr. Kip Stander, Pratap Beck, Jerin Pananthanam, Praveen Kumar, District Superior Augustus Surin, Felix Raja, Telesphore Soreng, Ignase Arulappen and Sr. Teresa Ferre, FMI



New Marianist brother Mark Motz is applauded after his profession of first vows. To his left are Andrew Giles, Fr. William Meyer, SM, and Fr. Christopher Wittmann, SM.

**米国:** アメリカ管区は、新しい自分たちの兄弟 Mark Motz, SM を誇らしく受け入れ、祝いました。

Bro. Mark は2013年5月18日、Ohio, Beavercreek, Mount Saint John の使徒の元后聖堂でのミサにおいて、初誓願を宣立しました。Fr. William Meyer, SM がミサを司式し、Bro. Joseph Kamis, SM 副管区長が誓願を受理しました。Bro. Mark は二年間の修練院を終えて誓願に辿りついたもので、これから三年間、またはそれ以上の養成コースを受ける予定です。

**コートジボワール:** 5月11日、アビジャンのアフリカの聖母学院に

において、Kouamé Wolfgang Adela, SM がマリア会での終生誓願を宣立しました。この美しい式は、総長評議員会のアイヴォリーコースト訪問と重なり、評議員会メンバーは従属地区のマリアニスト、彼らの家族、多くの友人たちと共に、喜んでこの式に列席しました。以前からのマリアニストの友人である Grand-Bassam 教区の名誉司教の Paul Dakoury 閣下がミサを司式されました。誓願を受理したのはコルテス総長です。Bro. Wolfgang はこの聖母学院で遂行中の司牧担当者の任を続行する予定です。



Kouamé Wolfgang Adela professes perpetual vows which are received by Superior General, Fr. Manuel Cortés, SM.

これらすべての兄弟達に祝辞を呈するとともに、心を合わせて彼らのために祈りましょう。

## 行政単位のリーダーの新規任命

ここ2ヵ月の間に、マリア会内の三つの行政単位で、彼らのリーダー任命に係わる意見聴取が行われました。

**メリバとオーストリア:** Bro. Thomas Cleary, SM (管区長) 並びに Fr. Garrett Long, SM (副管区長) はメリバ管区での第二期3年間の任務続行に向けて指名されました。Fr. Hans Eidenberger, SM もまたオーストリア・ドイツ地区長として再任されました。自分たちの行政単位内の兄弟たち、そしてマリア会全体に対する彼らのの奉仕の精神に、私たちは深く感謝するものです。



Hans Eidenberger, SM

**東アフリカ:** 東アフリカでは、Bro. Chola Mulenga, SM がこの若い地区の最初の地区長としての任期を終えたところです。Brother Chola はこの地区が従属地区から独立した地区へと進んでいく頃から、リーダーとしての任を果たしてきました。2010年の地区創設に際して、新地区長として指名される前から、士は長年にわたって従属地区長、そしてそれ以前は従属地区評議員会メンバーとしての任に当たってきました。新しい地区長は、これまで霊生部長の任にあった Fr. Gabriel Kirangah, SMです。Fr. Gabriel は2013年5月23日から新しい任務についています。



Thomas Cleary, SM Garrett Long, SM



Chola Mulenga, SM, installs Gabriel Kirangah, SM as the new Regional Superior in Eastern Africa

兄弟たちとマリア会のために新しい任務を引き受けてくれたこれら兄弟たちに深い感謝の念を表するとともに、彼らのために祈り、支えていきましょう。

## カナダ地区：ケベック進出75周年記念

「セント・アンセルムでの75年の歴史を、今日、私たちは喜びをこめて思い出します。何もない田園地帯に、マリア会の共同体が設立された時の、人々の温かい歓迎を、私たちは嬉しく思い出すのです。」「これこそ私たちが求めていた兄弟たちです」と、当時の主任司祭だった Omer Carrier 神父様が叫んで下ったのでした。私たちは種をまきました。他の人たちが水をまいてくれました。成長させてくだ

さったのは聖霊です。私たちが、皆で、一つになってチャレンジしてきた全てのことを、一緒に完成してきたことを、嬉しく思い出します。私たちのマリアニスト精神を分かち合う信徒の皆さんと一緒に益々発展していく共同作用に助けられて、新しいページがこれからも繰り広げられていくことでしょう。ですから、この歴史的なケベックの大地に進出し、存在し続けてきたマリアニストの75年の故に、神に感謝しましょう。立ちあがって、聖歌隊と一緒に「私たちの心の星、マリア」を歌いましょう。

以上の言葉をもって、カナダのマリアニスト地区長である Fr. Gérard Blais, SM は2013年5月19日、聖霊降臨の祝日の説教を終えたのでした。

ケベックの数百名ものマリアニスト家族やその友人たちが、ケベックへのマリアニスト進出 75 周年を祝う兄弟たちに加わりました。マリア会が初めてケベックのセント・アンセルムに入ったのは1938年のことです。記念式典の写真をここに数枚添付します。



## 私たちの教育事業に関わる統計表 — 2013年度版

教育は会員にとって、信仰をはぐくむための特別な手段である。

教育によって会員は、キリスト教的精神をまき、育て、強め、

また、これを人類の間に浸透させるよう努める。

(「生活の規則」74条)

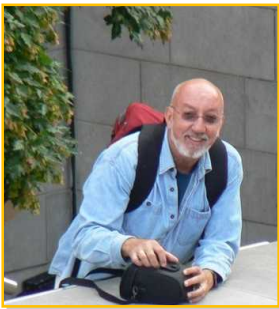
2013年度版マリアニスト教育事業年鑑電子版は、各行政単位リーダーと教育部長宛てに送付されています。<http://marianist.org/site.php?menuaccess=254> を参照ください。この文書の基幹となる統計の幾つかを以下にお知らせいたします：

行政単位	学校数	生徒数	教員数	管理職	会員数
アルゼンチン	4	6126	775	18	13
チリ	4	3644	189	32	15
コロンビア・エクアドル	3	4249	177	19	9
東アフリカ	7	3779	139	37	21
スペイン	17	21119	1347	80	46
フランス	11	11928	827	417	24
コートジボワール	2	2546	114	42	13
イタリア	1	451	48	4	9
日本	4	6783	459	49	12
韓国	1	760	50	6	3
メリバ	3	4839	240	26	30
オーストリア	3	2436	226	20	2
ペルー	4	5709	384	66	1
トーゴ	3	1407	88	17	20
米国（大学以外）	18	10859	884	351	48
米国（大学）	3	18063	1238	1948	55
米国（合計）		28922	2122	2299	103
インド	7	4776	132	14	27
<b>総 計</b>		<b>109,474</b>	<b>7,317</b>	<b>3,146</b>	<b>348</b>

### 註:

1. 私たちの学校総数は95です。
2. 18校は男子生徒のみです。
3. 77校が男女共学です。
4. 33校では幼児教育も行われています。
5. 初等教育が行われているのは49校です。
6. 中等教育が行われているのは83校です。
7. 3校で技術養成がなされています。
8. 大学数は3校です。
9. 20校が寄宿制度を採用しています。

## BRO. RICHARD JOYAL, SMの葬儀



Bro. Richard Joyal, SM が犠牲となった2013年4月25日のハイチでの悲劇的な殺人事件に続き、ハイチ、それにBrotherの出身地であるカナダで、葬儀が執り行われました。2013年5月20日、ハイチ、ポルトブランスのキリスト教教育修士会が運営する学校の聖堂で、Alphonse Quesnel 補佐司教が、Bro. Richard の葬儀を司式されました。式には教区の代表者たち、ハイチの修道会連盟のメンバー、信徒マリアニスト共同体のメンバーなど多数の人々が列席しました。続いて、Brotherの遺灰はカナダのケベックに運ばれ、5月25日、土曜日、マリアニストの兄弟たち、マリアニスト家族のメンバー、Richard の親族、友人たちの列席のもと、葬儀が執り行われました。ローマの総本部では、ハイチでの葬儀に合わせて、ミサが捧げられました。世界各地から、祈りと連帯の讃辞が捧げられています。私たちはRichardの永遠の安息のために祈るとともに、彼がマリア会、そして特に、発展途上の地域のために行った貢献の故に感謝を捧げます。

ハイチ当局は、事件発生の48時間後に、殺人事件に関連して、地域暴力団とのつながりを持った容疑者が逮捕された旨、発表しています。この悲劇の調査と司法当局への引き渡しは、まだ当初の段階にあり、内容の解明は長期にわたると思われる。Bro. Richard の永遠の安息のため、そしてこのような悲劇が繰り返されないよう、皆で祈りましょう。

## ローマの国際神学校：選任式

5月20日、月曜日午後、共同ミサにおいて、Via Latina 22 の二つの共同体、総本部、それに国際神学校は、彼らの兄弟たちの朗読奉仕者、祭壇奉仕者の資格を受ける式に列席しました。



助祭、司祭へと進むこの伝統的な段階は、修道会共同体とそのミッションでの奉仕に向けた招きなのです。マヌエル・コルテス総長がミサと式を司式し、神学校長、副校長であるFr. Francisco Canseco, SM と Bro. Lester Kaehler, SM が候補者を紹介しました。式の後、列席者たちはVia Latina のテラスでの祝宴に参加しました。マリア会内での奉仕に向けて、準備を進めている彼ら神学生のため、皆で祈りましょう。



## アドレスの変更

- Bro. Roland Gruber(SU):  
[roland.gruber@gmx.ch](mailto:roland.gruber@gmx.ch)

メキシコ行政単位：本部の新しいアドレス  
(所在地) Comunidad Marianista  
Josefa Vergara 12  
Colonia Amanecer Balvanera  
76927 Corregidora, Querétaro  
Tel: (442) 225-20 05

(郵便アドレス) Apartado 119  
76900 Corregidora, QRO  
México

## 最近の総本部からの 連絡、通知

- 訃報： No. 9 - 11
- 4月1日：SM 3 部門第138号：総本部の財務委員会について 財務局より

FMIおよびMLC からいくつもの通知が送られています。これらに関してはMarianist Family Website：  
[www.marianist.org](http://www.marianist.org) を参照ください。

## 総本部動向

- 6月1日－17日：総長評議員会のイタリア管区訪問
- 6月4日－19日：MMc インド、バンガロールでの従属地区黙想指導
- 6月19日－21日「養成者の養成」プログラムのための準備委員会、ローマ総本部にて